

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
110043	XXX1110043	2	後期	国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
				国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	×	×	×
社会企業論	三上 杏里			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
		情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×		
授業目的							
本講義では、社会的課題の解決をビジネスの手法を適用して実現している‘社会的企業’についてさまざまな角度から学ぶことを目的としています。社会問題・地域問題について理解を深めると共に、解決に向けて取り組む社会的企業にはNPO/NGO、企業、個人事業など多種多様な組織形態があるということを同時に学びます。また、実際に地元新潟で社会的企業活動を展開している人をお招きして話を聞く事例研究を行い、社会的企業についてより具体的に把握する機会とします。また、グループワークや自分が将来やりたいことに対する振り返り、事業立ち上げのシミュレーションなどを体験してもらい、理論と実践を繰り返し、地域・国際研究に対して当事者意識を持ちながら国際社会で対応していく能力を高めてもらいます。							
各回毎の授業内容							
第1回 【授】はじめに 社会的企業（ソーシャル・エンタープライズ）、社会的企業家（ソーシャル・アントレプレナー）とは何か、企業による社会貢献の歴史、日本における働く環境と労働観の変遷等 【前・後】ソーシャル・アントレプレナー、企業の社会的貢献（CSR）について				第9回 【授】事例研究③の振り返り 【前・後】予習復習に4時間			
第2回 【授】ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）とは何か 【前・後】ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）について				第10回 【授】事例研究④外部講師 【前・後】予習復習に4時間			
第3回 【授】事例研究①外部講師 【前・後】予習復習に4時間				第11回 【授】事例研究④の振り返り 【前・後】予習復習に4時間			
第4回 【授】事例研究①の振り返り 【前・後】予習復習に4時間				第12回 【授】事例研究⑤外部講師 【前・後】予習復習に4時間			
第5回 【授】事例研究②外部講師 【前・後】予習復習に4時間				第13回 【授】事例研究⑤の振り返り 【前・後】予習復習に4時間			
第6回 【授】事例研究②の振り返り 【前・後】予習復習に4時間				第14回 【授】起業体験①（起業計画、事業計画書の作成）自分が関心のある社会課題に対してどのように取り組んでいくのかについて、各チームに別れてプロジェクトの立ち上げや組織化をシミュレーション体験してもらいます。 【前・後】起業体験発表会の準備			
第7回 【授】ワークショップ（起業に向けて今から何をすべきかのアクションプランの抽出） ミッションステートメントとは何か 【前・後】予習復習に4時間				第15回 【授】起業体験②（起業計画、事業計画書の発表）第14回講義で作成した起業計画・事業計画に関するプレゼンテーションコンテストを行います。各プレゼンテーションに対する審査や評価も体験してもらい、様々な角度からの学びと実践の機会を得てもらいます。 【前・後】学期末レポートの案内			
第8回 【授】事例研究③外部講師 【前・後】予習復習に4時間				第16回 【授】学期末レポート			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	20	10			10		40
小テスト・授業内レポート	10				10		20
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加	5		5				10
成果発表（口頭・実技）							
演習		10	10	10			30
その他							
授業への出席、グループワークへの参加態度、学期末レポートによって評価します。学期末レポートは、与えられた課題に対して理論的に書かれておりなおかつ自分の意見を発信しているか否か、に注視して採点します。レポートの書き方は授業の最中に例題を提示しながら指導します。							
教科書参考書							
教科書はありませんが、参考文献は都度案内します。また、授業内容に関する資料を毎回配布します。							
受講に当たっての留意事項							
受講者自らが考え、皆で議論するグループワークの機会を設けます。積極的な参加を求めます。							
学習到達目標							
社会問題・地域問題に対して、自分はその問題を抱えている社会の一員であるという当事者意識を高めてもらいます。その上で、将来的に「働く」ということを意識して自分なりの価値観を確立し、自主的に行動するための実践力を身につけていただきたいと思います。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習